

5/28

初夏の風と共に爽やかウォーク チャレンジウオーク21 (山北中学校)

初夏の風が吹き抜ける5月の終わりに、山北中学校の「チャレンジウオーク21」が開催されました。

この行事は、生徒の健康と体力の向上や、地区内を歩くことで郷土を知ることなどを目的として毎年行われています。中学校をスタートして、中継集落、小俣集落を通り中学校へ戻る全長21キロメートルのコースを、全校生徒77人が元気よく歩きました。

緊急事態宣言が解除され学校が再開してから初めての行事ということもあり、生徒たちの晴れやかな笑顔を見ることができました。



▲新緑の中を元気よく歩く生徒たち



▲青色に染まった村上駅前の歓迎塔

6/1

感謝と応援の気持ちを伝えるために にいがた結プロジェクト (JR村上駅)

市では、新型コロナウイルス感染症対策の最前線で市民生活を支えている皆さんへの感謝、応援の気持ちを伝えるため「にいがた結(むすぶ)プロジェクト～ブルーライトアップ～」に参加し、5月30日～6月30日までの間、村上駅前の歓迎塔を青色にライトアップしました。

この取り組みは、新潟県内の各地で行われ、さまざまな施設が青色に染まりました。

6/6

暖かな灯に癒される夕暮れ 棚田竹灯籠 (高根集落)

高根集落で「棚田竹灯籠」が開催され、地域住民が癒しのひと時を過ごしました。

これは、高根集落で活動している、地域おこし協力隊の栗原隊員と地域住民有志の協力により、田植え終わりを祝う催しとして、昨年度に引き続き開催されたものです。

6月とは思えない連日の暑さの中での準備作業でしたが、棚田に約500本の竹灯籠を配置し、竹を連ねたモニュメントも作成。来場した住民からは歓声があがり、写真を撮る姿も見られました。



▲暗闇に灯る竹灯籠とモニュメント



▲臥牛山朝猛さんを講師にエクササイズ

6/11

3密を回避しながら活動再開！ すもうエクササイズで運動不足解消！ つどい場「あら、ほっ」(荒川地域)

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用を休止していた、つどい場「あら、ほっ」が、6月1日より再開しました。

この日は、村上市地域おこし協力隊の臥牛山朝猛^{がきゅうさんともたけ}さんを講師に迎え、ステイホームで運動不足の身体をストレッチや軽運動でエクササイズ。

参加者は、ソーシャルディスタンスなどの感染予防対策に注意しながらも、お互いにコミュニケーションをとり、久しぶりの活動を楽しんでいました。